

第4回 大阪市生きた建築ミュージアム推進有識者会議 会議要旨

1. 日時 平成25年10月21日(13:00-15:00)
2. 場所 大阪市役所 P1会議室
3. 出席者
(委員) 橋爪座長、嘉名委員、倉方委員、澤田委員、高岡委員、長町委員、吉田委員
(事務局) 企画部長、企画部まちづくり事業企画担当課長

4. 議題

第1部

- 1) 選定について
- 2) 活用について
- 3) 今後の展開について

第2部

- 1) 生きた建築ミュージアム・大阪セレクションについて

5. 議事要旨

第1部

「1. 選定について」

- ・ 第2部にて公表となる大阪セレクションの選定内容等について、確認いただいた。

「2. 活用について」

- ・ ロンドンでの取り組み(オープンハウスロンドン)を参考にしながら、実験的に様々な方法で建物公開を行ってはどうかとの意見があった。
- ・ 公開されている建物の付近に行ったとき、何かやっているということがわかるようなツールがあると良い。統一されたデザインのサインなども検討してもいいのではないかと意見があった。

「3. 今後の展開について」

- ・ 公開するものの枠やプログラムを広げることを検討することとあわせて、取り組みを継続していけるような仕組み・実施組織等についても、今後、検討していく必要があるとの意見があった。

第2部

「1. 生きた建築ミュージアム・大阪セレクションについて」

(選定を公表。今回の選定に際しての感想・コメント等をいただいた。)

- ・ この事業の特徴は、これまでの文化財とは、少し違った価値で建築を評価していることである。
- ・ 戦前に建てられた近代建築のみならず、その時代ならではの魅力、戦後に建てられた喫

茶店やレストランビル等、昭和文化の一つの側面を彩ったものを選定しているところが大きな特徴である。

- ・ ‘生きた’ということは、今を持って存在価値があるということだと思っている。建築というのはどんな人でも、都市に生活する限り関わっているので、大阪セレクションを通じて、建築を身近に感じていただきたいと思う。
- ・ 選定だけで終わらず、その後の見せ方、見せるような環境が大事であって、今後、どのように活用されていくのかも考慮する必要がある。
- ・ 大阪の誇りとする大事な建物群を知ってもらい試みを通じて、大阪の魅力を多くの一般の方に楽しんでいただきたいと感じている。

6. 配布資料

○ 会議次第

第1部

- 資料 1 生きた建築ミュージアム・大阪セレクション (28件)
- 資料 2 生きた建築ミュージアム 2013 [大阪セレクション×実証実験 (案)]
- 資料 3 今後の展開について*

第2部

- 資料 1 「生きた建築ミュージアム・大阪セレクション」を選定しました

※ 第1部は、「審議会等の設置及び運営に関する指針」第7-1-(1)-ア、エに該当するため、会議及び配布資料(会議次第を除く)を非公開とする。第2部は、会議及び配布資料ともに公開する。

担当 (お問い合わせ先)	大阪市都市整備局企画部住宅政策課 (まちづくり事業企画) 電話：06-6208-9222 Fax：06-6202-7064 E-mail：ka0001@city.osaka.lg.jp
-----------------	--